

土どう宝協議会（沖縄県南風原町）

R4補正
R5当初

99

背景・課題

南風原町は、沖縄本島南部のほぼ中央に位置し、県内では海に面していない唯一の市町村です。本地域は1ha以下の小規模農家が多く、酪農、園芸（野菜、花き）を中心とした都市近郊型の農業が発展している。現在、環境に対する意識が高まっている中、農薬・化学肥料低減等の環境にやさしい栽培への転換が課題となっている。

目指すグリーンな栽培体系

- 生態系調和型農業理論（以下「BLOF理論」という。）への理解を深め、減農薬・減化学肥料栽培への転換に取り組む。
- グリーンな栽培体系の取組面積 0.6ha（現状）→1ha

取組の内容

「BLOF理論」の理解を深め、減農薬・減化学肥料栽培への転換を推進するため、BLOF理論インストラクターによる栽培講習会および検討会を年に8回開催し、会員の理解力・研究心・栽培技術力の向上に取り組む。

また、土壌診断を7ほ場で3回ずつ実施（植付前1回・収穫前か収穫後のいずれか1回・収穫後期1回）し、技術等の検証を行い、診断結果を基に新しい栽培技術を取り入れて、減農薬・減化学肥料栽培への転換を図る。



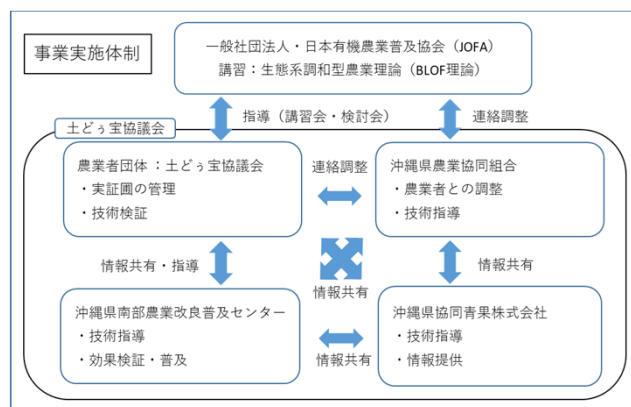
南風原町

構 成 員

土どう宝協議会、
沖縄県南部農業改良普及センター、
沖縄協同青果株式会社、
沖縄県農業協同組合

品 目

きゅうり（施設）



生産

BLOF理論に基づいた栽培講習会、土壌分析。

きゅうり（施設栽培）の農薬・肥料散布回数および労働時間の削減と生産量・品質の向上に取り組む。

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



BLOFインストラクター
による講習会



土壌分析調査



太陽熱養生処理



土壌団粒化調査

普及に向けた取組

- ・1～2年目はBLOF理論の理解、新しい取組の情報収集を中心に行い、3年目に収集した情報を基にマニュアル作成を行う。作成したマニュアルを基に農業者が講師となり、グリーンな栽培体系へ転換を図る活動を他地区・他品目に向けて情報発信し、南部地区全体で取り組みたい。

問い合わせ先

沖縄県農林水産部園芸振興課 TEL：098-866-2266